

病害虫発生速報(9月6～9日調査)

病害虫防除所が実施した調査をもとに、平年値と比較した病害虫の発生速報です。

不明な点がありましたら、病害虫防除所予察班(TEL:022-275-8982)までお問い合わせください。

作物 (地点数)	病害虫名	調査時期	調査結果	備考
水稲 (57)	穂いもち	8月中旬～ 9月上旬	やや少	県中部、県北部及び県東部のほ場で発病が確認されました。
	紋枯病	6月中旬～ 9月上旬	やや少	広域で発病が確認されましたが、発病株率及び発病度は平年よりやや低くなりました。
	稲こうじ病	8月中旬～ 9月上旬	平年並	広域で発病が確認され発生地点率は平年よりやや高くなりましたが、発病穂率は平年よりやや低くなりました。
	ニカメイチュウ	7月中旬, 9月上旬	少	県中部及び県北部のほ場で発生が確認されました。
大豆 (19)	立枯性病害	8月上旬～ 9月上旬	平年並	県中部及び県東部のほ場で茎疫病が確認されました。
	アブラムシ類	7月上旬～ 9月上旬	平年並	広域でダイズアブラムシの発生が確認され、県南部及び県中部のほ場でジャガイモヒゲナガアブラムシの発生が確認されました。
	吸実性カメムシ類	8月上旬～ 9月上旬	平年並	県南部のほ場でホソヘリカメムシの発生が確認されました。
	フタスジヒメハムシ	7月上旬～ 9月上旬	平年並	県南部及び県北部のほ場で確認され、発生量が多いほ場も確認されました。
	食葉性チョウ目 (オオタバコガ, ツメクサガ)	7月上旬～ 9月上旬	やや多	広域でツメクサガ、県南部及び県東部でオオタバコガ、県東部でハスモンヨトウ、県中部及び県北部でミツモンキンウワバの発生が確認されました。
りんご (16)	斑点落葉病	5月中旬～ 9月上旬	やや多	広域で発病が確認され、徒長枝での発病葉率が高いほ場が確認されました。
	褐斑病	6月上旬～ 9月上旬	平年並	県中部及び県北部で発病が確認され、発病葉率が高いほ場が確認されました。
	斑点落葉病(果実) 黒星病(果実) 褐斑病(果実) 輪紋病(果実) 炭疽病(果実)	8月上旬～ 10月上旬	少	発病は確認されませんでした。
	ハダニ類	5月中旬～ 9月上旬	やや少	県南部及び県北部でナミハダニやリンゴハダニの発生が確認されました。
	アブラムシ類	5月中旬～ 9月上旬	少	発生は確認されませんでした。
	キンモンホソガ	5月中旬～ 9月上旬	やや多	広域で発生が確認され、被害葉率が高いほ場も散見されました。
	なし (11)	黒星病	5月中旬～ 10月下旬	少
ハダニ類	5月中旬～ 9月上旬	平年並	県南部でナミハダニまたはリンゴハダニの発生が確認され、寄生頭数が多いほ場も確認されました。	
アブラムシ類	5月中旬～ 9月上旬	少	発生は確認されませんでした。	
果樹カメムシ類	6月中旬～ 9月中旬	やや多	広域で被害果の発生が確認されました。8月上旬及び中旬と同様に、発生地点率及び被害果率が過去9か年または10か年の中で最も高くなりました。	
秋冬ねぎ (12)	さび病	7月上旬～ 10月上旬	少	発病は確認されませんでした。
	べと病	7月上旬～ 10月上旬	やや多	県中部及び県北部で発病が確認され発生地点率は平年よりやや高くなりましたが、発病度は平年並でした。
	黒斑病・葉枯病	7月上旬～ 10月上旬	平年並	広域で発病が確認されましたが、発病度は平年並でした。
	アザミウマ類	7月上旬～ 10月上旬	やや多	全調査地点で発生が確認され、被害株率の高いほ場も確認されました。
	ハモグリバエ類	7月上旬～ 10月上旬	やや多	広域で被害が確認され、一部被害株率の高いほ場も確認されました。また、県南部及び県北部のほ場で、従来のハモグリバエよりも著しい食害痕を呈する別系統(バイオタイプB)の被害が確認されました。
	ネギコガ	7月上旬～ 10月上旬	平年並	県北部の一部ほ場で発生が確認されました。